

2026 年度 実技発表分科会

担当教員：宮田 佳代子・望月 純吉・滝口 幸子・内之倉 勝哉・甕 佳代子・寺嶋 陽子

実技発表分科会では、下記に従い卒業作品発表会への参加と卒業レポートの提出したものに限り「卒業論文および制作」の単位を認定するものとする。

1 卒業作品制作発表会への参加

日程：2026年度F1～F2の授業期間中（日程・詳細は後日発表）

内容：プロジェクト研究における指導に沿い、卒業作品にふさわしい演目を完成させ、場当たり、ゲネプロへの参加を経て本番に参加する。1月に行われる予定の卒業セレブレーション（合同成果発表会）への参加を含む、本番に向けた1年間の取り組み姿勢を評価の対象とする。

2. 卒業レポートの提出 各プロジェクト研究指導教員の指導により、通年で執筆する。

①エントリーシート締切日：2026年5月15日（金）3号棟教学事務室（事前の履修登録必須）

②卒業レポート第一回提出日：2026年12月18日（金）

③卒業レポート最終提出日：2027年1月13日（水）、14日（木）

※②と③の提出方法は、◆卒業レポートの書式および提出方法を参照すること。

※卒業レポートの最終提出は、第1回提出をした学生のみ受け付ける。

◆卒業レポートの書式および提出方法

① 書式

〔全般〕日本語横書き、A4、40字×30行（MSWordのデフォルトの設定）、10,000字以上。

〔投稿区分〕1行目に左寄せで投稿区分を〈〉（山かっこ）を付けて記す（MS明朝11pt）。

〔プロジェクト名と指導教員名〕投稿区分から一文字空けて、同じ列に記す（MS明朝11pt）

〔題名〕3行目に題名を書く（MS明朝14pt、中央揃え）。副題があれば次の行に書く（MS明朝11pt、中央揃え）

〔学籍番号・氏名〕題名（副題）から1行空けて書く（MS明朝12pt、中央揃え）。

〔要旨〕氏名から1行空けて始める。

〔目次〕目次には新しい頁を設ける。章・節・項の数字と見出しはHGゴシックE11pt。

〔本文〕本文には新しい頁を設ける。MS明朝10.5pt（アルファベットとアラビア数字はCenturyを使用）。

〔図表〕図と表には、それぞれ通し番号と見出しをつける（図の場合は下側、表の場合は上側）。例：図1

〔引用文献リスト、参考資料リスト〕本文から3行空けて始める（MS明朝10.5pt）。以下の例に従い項目別で五十音順に記載すること。

単行本：東谷護（2016）『マス・メディア時代のポピュラー音楽を読み解く：流行現象からの脱法』東京：勁草書房、p212 雑誌：若尾裕（2016）『音楽は生きている』『あんさんぶる』

（増田英和編）、静岡：カワイ音楽教育研究会本部、p16-17。URL：文化庁「著作権」<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/>（2023年3月20日現在）〔その他〕ページ数必須。

<実技発表分科会・担当指導教員 * * * * 先生>

タイトル

ーサブタイトル（無い場合は削除）ー

XA2023- * * * 城国 太郎

②レポート第一回提出方法：レポートのワードデータを自身の指導教員に添付ファイルで送信する。

※ 件名は、卒業レポート（学籍番号：氏名）と記入する。

③レポート最終提出の方法：卒業レポートを、指定場所に提出する。※指定場所は12月に通達する。